

## 学校だより



### 環境が人を作ります

連日の猛暑の中、今年の夏休みも終了しました。今日から2学期が始まりました。気象予報では、9月も残暑が厳しいとの報道がされています。続けて、熱中症には十分に留意しながら、生活リズムの立て直し

を図って頂きますよう、よろしくお願致します。本校の保健体育部による生活実態調査の結果から、「起床時刻」「就寝時刻」が一定しており、睡眠時間が確保されている児童や保護者に起こされるのではなく、自分で起きることが出来る児童、つまり「自律起床」ができる児童ほど、「目覚め感」が高いことが明らかになりました。ぜひ、2学期、生活リズムの立て直しの際の参考としてください。

さて、8月21日(日)には、保護者の皆様方に御協力頂きながら、5、6年生も参加をして、PTA環境整備作業が行われました。教室の窓拭き、扇風機の掃除、グラウンド整備、草取り、ペンキ塗り等多岐にわたり作業をして頂きました。また、当日来校が難しい保護者の方は、別日に作業をして頂きました。気持ちの良い環境の中で、2学期がスタートできることに心から感謝致します。ありがとうございました。



### 困難が人を育てます



### 山海島 体験活動

3泊4日間、集団で宿泊しながら活動を行うという経験は、日常とは異なり、自分の思い通りにものごが進まない場面と数多く出会います。その時、「自分はどうか」が問われます。自分の意見を通すのか、人の意見に従うのか、考えを出し合い、折り合いをつけるのか、一人一人の調整力が問われます。人が抱く悩みの内、約8割が人間関係上の悩みだと言われます。子供達もこうした場面での葛藤を通して、人の中で生きていくすべてを学んでいきます。

また、この集団宿泊活動は、一人一人が自分の仕事や役割を受け持ち、協力してその責任を果たすことが求められます。しかし、自分の仕事や役割を責任を持って果たすだけではより良い集団生活には結びつきません。自分の仕事や役割ではないけれど、誰かがやらなければ、みんなが困る仕事もあります。そうした仕事に対して、見て見ぬふりをするのか、誰も見ていないけれど、自分が動くのか、ここが成長の岐路となります。自立性、責任感、公共心を育てるためには、困難な場面や判断に迷う場面いかに正面から対峙させるかが鍵だと考えています。

5年生は、この体験活動を通して、自分自身の成長、集団としてのまとまりを得ることができました。2学期からの充実した学級活動が期待できます。保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

